

教師は授業で勝負する～道徳・理科の研究授業～



「教師は授業で勝負する」、まさに言い得て妙ですね。今週は連続で、東盛教諭（道徳）、田仲教諭（理科）の研究授業が開催されました。

東盛教諭は、教職10年経験者研修の国頭地区代表者授業です。道徳の授業で大切とされる「ねらいとする道徳的価値について、子どもに、何を、どのように考えさせ、どのようなことを学ばせるか」がしっかりと押さえられていました。

田仲教諭は、小中学校理科指導者合同の「理科観察実験研究協議会」。文部科学省山中調査官、国頭教育事務所神山所長もいらつしやつての授業研究会でした。

田仲教諭は、これからの「学び」の本質となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善がねらいです。実生活の中での身近な素材を活用することで実感の伴った理解へと授業が進められていきました。

